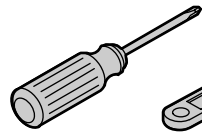
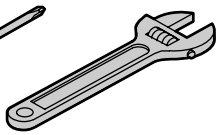


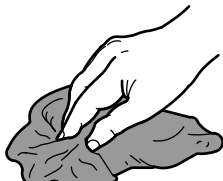
必要工具および現場手配品



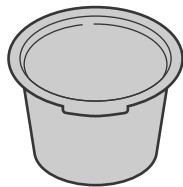
プラスドライバー



モンキーレンチ



ウエス



バケツ

その他：

カッターナイフ、メラミンスポンジ、プライヤー

<p>重要事項 シンク本体の取り付け前に、シンクへの水栓金具の取付をお勧めします。 大理石など天然石材製カウンター等には石材にあった止水剤をご使用ください。</p> <p>お知らせ 説明で使用している図が、一部本製品の形状と異なります。裏面の部品図を参照して該当部品をご確認ください。</p> <p>警告 この水栓金具には逆流防止機能が付いています。水の汚染を防ぐため、この水栓金具から内部部品を取り外さないでください。</p>	<p>同梱品一覧</p> <p>エスカッション×1 ウェイト×1</p> <p>ワッシャー×1 逆止弁×2</p> <p>水栓固定ナット×1 パッキン×2</p> <p>ネジ×2</p>	<p>1 シンクへ取付:</p> <p>シーリング材の施工は不要です。</p> <p>エスカッション</p>	<p>2 水栓固定ナットの準備</p> <p>水栓固定ナットにネジを仮締めします。ネジが干渉して水栓固定ナットを締め込めない場合は、ネジを取り外してから水栓固定ナットの向き(表裏)を反対にして再取付けてください。</p>
<p>3 水栓本体の固定</p> <p>ワッシャー</p> <p>水栓固定ナット</p> <p>ネジが水栓の前と後になる向きで、ワッシャーと水栓固定ナットの隙間が5mm程度なるように固定ナットの締め具合を調節し、ネジを締め込みハンドルを固定します。 ※強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。</p>	<p>4 給水/給湯の接続</p> <p>給水、給湯を接続します。<u>接続前に、止水栓をゆっくりと開き、止水栓側の配管内のゴミをしっかりと取り除いてください。</u></p> <p>必ず同梱の逆止弁を取付けてから接続してください。</p>	<p>5 洗管</p> <p>シャワーホース接続前に、再度止水栓をゆっくりと開き、水栓側の配管内のゴミをしっかりと取り除いてください。</p>	
<p>6 ホースの接続</p> <p>仮組みされているコネクターを外し、ウェイトをホースへ入れておきます。</p> <p>コネクターのメネジ側にホースを手で締め込みます。 ※強く締めすぎると破損する恐れがありますのでご注意ください。</p> <p>スパウト部ホースへコネクターをカチッと鳴るまで差し込む</p>	<p>7 水漏れの確認</p> <p>水漏れを確認します。</p>		
<p>8 ウェイトの調整</p> <p>シャワーホース下端から50~75mmの高さにインシュロックを仮止めします。 ※インシュロックはウェイトの下側に取付けしてください。 ※ウェイトが正しく固定されていない場合、漏水の原因となる可能性がありますのでご注意ください。</p> <p>50~75mm</p> <p>シャワーホースを引き出して動きを確認し、問題なければ、しっかり締めて余分を切ります。</p> <p>※ウェイトはホースの出し入れをスムーズにする為のものです。取付け忘れがないようご注意ください。</p>	<p>ホースを外す場合は、コネクター上部の開口部から爪を押し込みコネクターを抜きます。</p> <p>※事前に必ず給水・給湯の止水栓が閉まっている事を確認してください。</p>	<p>お手入れ方法</p> <p>ゴミやカルキが詰まってしまう場合は、水が流れている状態でシャワーヘッド先端のゴム部分を軽く指先で擦って取り除いてください。 ※強く擦りすぎるとゴム部分が破損してしまう可能性がありますのでご注意ください。</p>	

